

中野区地域包括ケア推進パートナーシップ協定の締結について

中野区地域包括ケア推進パートナーシップ協定について、令和6年1月から受付を開始し、現時点で4件の協定を締結したため、報告する。

1. 各協定について

(1) 公益財団法人日本ヘルスケア協会（令和6年2月締結）

①法人の概要

国民の健康寿命延伸に関わるヘルスケア領域全体の問題や課題を取り上げ、その問題提起を行い、行政・学界・産業界・団体等関係諸方面に働き掛けてその実現や問題解決を図ることを目的に活動している。

②協定上の取組区分

健康、福祉の増進に関すること

③取組内容

見守り活動、区民活動センターにおける居場所づくり、オレンジカフェへの帝京平成大学学生の参加等、様々な地域貢献活動の取り組みを区と協働で実施する。

(2) 中野区フリー活動栄養士会（令和6年2月締結）

①団体の概要

昭和53年に立ち上げ、中野区にて地域住民の食生活に対する啓発的支援を行ってきた団体である。

②協定上の取組区分

- ・健康、福祉の増進に関すること
- ・介護予防に関すること

③取組内容

ライフステージごとの特徴を踏まえて、出生期から高齢期に至るまで、それぞれの年代の人々に食生活のあり方を広め、実践してもらうための講座等を企画・実施し、区はすこやか福祉センター等と連携してフィールドの調整や、広報等実施する。

(3) 東京電力パワーグリッド株式会社、株式会社エナジーゲートウェイ
(令和6年2月締結)

① 法人の概要

東京電力パワーグリッド株式会社は株式会社エナジーゲートウェイと協働し、電力使用データを収集・分析し可視化する事業を展開している。また、国立循環器病研究センター及び国立大学法人宮崎大学と共に、健康寿命の延伸を目指した共同研究を行っており、主に認知機能の低下やフレイルの予兆を検知する研究・実証を行っている。

② 協定上の取組区分

- ・ 健康・福祉増進に関すること
- ・ 認知症対策に関すること
- ・ 介護予防に関すること
- ・ 見守り支援に関すること

③ 取組内容

健康寿命の延伸を目的として、認知機能低下の予兆を早期に発見するなどの実証試験を行う。株式会社エナジーゲートウェイが提供する電力センサー（分電盤にセンサーを取り付けることで家電ごとの電気使用量を可視化）を活用し、各家電の使用状況から認知機能低下を予測するとともに、東京電力パワーグリッド株式会社が認知症予備軍である軽度認知障害（MCI）検知とデータ取得を行う。60歳以上の独居高齢者から100人程度をモニター募集するため、区が広報等実施する。

(4) 株式会社プラスロボ（令和6年2月締結）

① 法人の概要

介護福祉領域に関わる人を増やすことを目的に「スケッター（介護施設における有償ボランティアマッチングサービス）」を2019年にリリースし、提供している。

② 協定上の取組区分

- ・ 介護施設における人材確保等に関すること
- ・ 孤独・孤立対策に関すること

③ 取組内容

スケッターを活用し、中野区内の介護施設における人材確保を支援する他、ひきこもり状態にある方等への就労機会の提供、学生の社会参加の促進に取り組む。区は介護施設への声掛けや、区民への有償ボランティア参加の広報等実施する。

2. 協定のネーミングとロゴについて

中野区地域包括ケア推進パートナーシップ協定のより一層の周知及びイメージアップを図り、協力事業者を得るため、愛称とロゴを設定した。これらの中野区公式ホームページ等媒体や協定書の様式として用いるほか、協定締結相手方による使用も認めるものとする。

【愛称等】

正式名称	中野区地域包括ケア推進パートナーシップ協定
愛称	ナカノ・インクルーシブ・ケア・パートナーシップ協定
英語表記	Nakano Inclusive Care Partnership Agreement
略称	NIC+（エヌ・アイ・シー・プラス）

【ロゴ】



（解説）

- ・ NAKANO Inclusive Care の頭文字を使用。
- ・ NとIは3色でそれぞれ、民・公・学を表し、繋がりをイメージ。
- ・ 「+」は、区民の皆様や地域、そして、パートナーである民間等にとって「プラス」となるような取組であること、そして、多様な参加者（パートナー）の意味を込めている。